

報道関係各位

2017年9月26日
株式会社ワイドテック**「メールで電話がかけられる！」 画期的新サービスを開発**～ 複数の相手に発信、プッシュボタンで応答も可能。
特許出願中、「CEATEC JAPAN 2017」にも出展 ～

株式会社ワイドテック（本社・東京都千代田区、代表取締役・李光一郎）では、電子メールを1通送信するだけで、複数の相手に電話を自動発信できる新しい通信サービス「急コール（きゅうコール、欧文表記：CueCall）」を開発し、このほど提供を開始しました。

複数の相手に対して連絡を取りたい場合、最近では SNS アプリなどが利用されることも増えていますが、急ぎの連絡手段として多くの人が思い浮かべるのは「電話」、次いで「メール」という調査結果が出ています。*

*出典：「防災についてのアンケート・ランキング 第2弾（2016年7月29日、ニフティ株式会社）」
http://chosa.nifty.com/life/chosa_report_A20160729/6/
設問「緊急時の連絡手段として、想定しているものは？（複数回答可）」に対する3,074件の有効回答中、1位は「携帯・スマートフォンの電話」76%、2位は「自宅の電話」と「メール」が40%（同率）

電話は特に即時性に優れていますが、基本的に1対1の連絡手段である上、連絡を取りたい相手に1人ずつ電話をかけたとしても、必ず出てもらえるとは限りません。

そこで当社では、急を要する場合の連絡手段として最も想起率の高い「電話」と「メール」を組み合わせ、メールを合図(cue)に電話を自動音声により発信する(call)技術を開発しました。さらに、当社がクラウド型電話転送サービス「転送録」で培ってきた「順次転送」のノウハウも応用し、1本のメールで複数の相手に電話発信が可能な、これまでになかった画期的な通信サービス「急コール(CueCall)」として、完成に至ったものです。

なお、本技術につきましては、特許を出願しました。

■ 「急コール」の主な機能

- メールを1通送るだけで、あらかじめ登録しておいた複数の相手を電話で呼び出せる
- メールの内容を解析し、適切な相手を自動的に選んで電話発信
- 電話を受けた相手は、自動音声案内を聞き、電話機のプッシュボタン（トーンダイヤル）で回答可能
- メール送信者は Web またはメールで、回答結果を閲覧可能
- 音声合成による案内メッセージの自動生成（開発中、オプションとして提供予定）

「急コール」の主な対象顧客としては、BCP（事業継続計画）対策のための連絡網を構築したい官公庁・自治体・企業、医療機関・介護業界、24時間・365日ノンストップ稼働の工場やデータセンター、警備業界、シフト勤務を行うサービス業界などを想定しています。

本サービスの提供価格は、案件ごとの個別見積とします。

■ CEATEC JAPAN 2017 に出展します

当社では「急コール」を、来る10月3日（火）～6日（金）に幕張メッセにて開催される、国内最大のCPS（サイバーフィジカルシステム）とIoT（モノのインターネット）の総合展示会「CEATEC JAPAN 2017」に出展し、デモや導入のご相談を承ります。

<<CEATEC JAPAN 2017 について>>

会期：2017年10月3日（火）～6日（金）

場所：幕張メッセ（千葉市美浜区）

URL：<http://www.ceatec.com/ja/>

当社ブース番号：ホール2 C127（ホール2 入口階段を降りて左手すぐ）

ワイドテックでは、「急コール」をはじめとしてユニークな電話関連サービス・製品を豊富に取り揃え、電話をもっと便利に活用するための多彩なソリューションを引き続き提案して行きます。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

株式会社ワイドテック

プロダクト事業部「急コール」営業担当

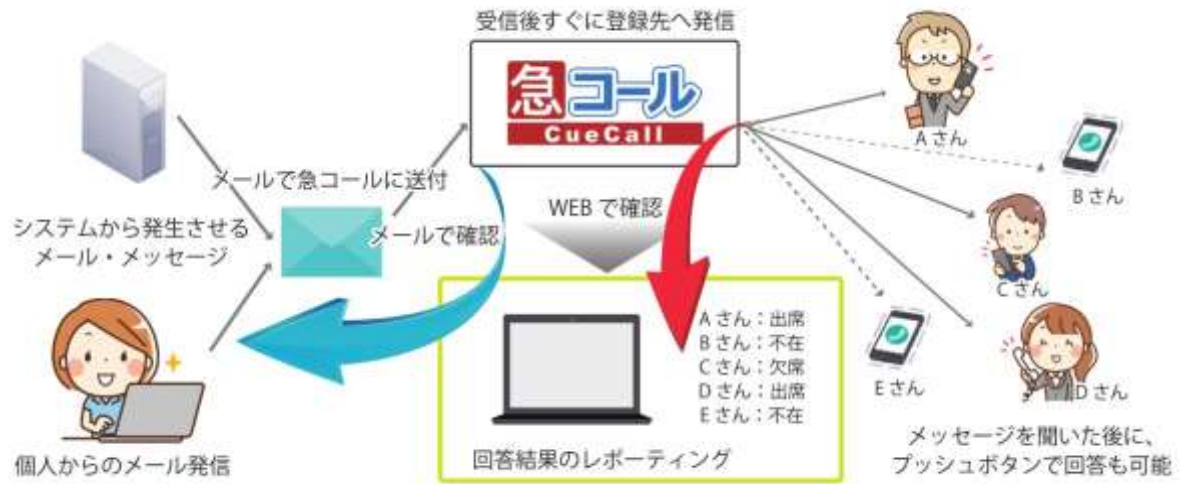
電話：03-5829-4886 FAX：03-5829-6258

E-mail：cuecall@widetec.com

「急コール」Webサイト：<http://cuecall.jp>

【ご参考】

1) 「急コール」のサービスイメージ



2) 「急コール」ご利用例（ビル管理での異常発生対応）

